

## 臨床膵島移植再開および臨床試験の開始のお知らせ

平成19年3月に、膵島を分離する際に使用するコラーゲン分解酵素の生成過程でウシ脳神経抽出物を使用していることが判明して以来、臨床膵島移植の実施は中断しておりました。この間、日本膵・膵島移植研究会では、安全性の高い酵素の入手に加え、今後の本治療法の展開を考え、厚生労働省高度医療評価制度のもとでの臨床試験実施体制を整備して参りました。このたび、哺乳動物由来成分を生成過程に用いない安全性の高い酵素製剤が継続的に使用可能となり、臨床膵島移植の実施体制が整い、**平成24年6月1日より**臨床膵島移植を再開することになりましたことをご報告いたします。

膵島移植臨床試験「重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植」は、同種性膵島移植片に対する免疫反応制御のために使用する免疫抑制剤の臨床効果及び安全性の評価を目的に実施されます（UMIN 試験 ID：UMIN000003977）。この臨床試験は文部科学省「橋渡し研究推進プログラム」に採択されており、試験実施の推進のための支援をいただけることとなっております。現在、本研究会において約120名の膵島移植候補者が登録されておりますが、そのうち臨床試験参加希望者を優先的に、膵島移植を実施する方針とし、今後の本治療法の確立を目指しております。

臨床試験の進捗状況につきましては随時、ホームページにおいても報告する予定です。膵島移植の実施にあたりましては、各臓器移植の実施に関わる先生方およびコーディネーターの方々を始め、皆様の今後ますますのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成24年4月2日

日本膵・膵島移植研究会  
会長 後藤 満一